

登山道荒廃状況等の調査結果概要について

環境省九州地方環境事務所

1. 調査の概要

登山道を踏査し、平成 22 年度に実施した第 1 回調査結果と比較して登山道の浸食等荒廃状況を把握した。

2. 調査結果



図：調査路線と荒廃確認地

路線名	距離 (延長)	浸食・階段 工倒壊	崩落・ 落石跡	木道 破損	倒木	土砂 流入	泥濘化 ぬかるみ	土石 流跡	他	合計
縄文杉宮之浦岳線 歩道（淀川登山口 から大株歩道入口 までの区間）	13.3km	34	1						1	36
黒味岳分岐から黒 味岳	0.6km	2								2
永田線（永田登山 口から鹿之沢小屋 までの区間）	9.2km	6			1	3			3	13
花山線 （花山歩道入口か ら鹿之沢小屋まで の区間）	6.4km	19			2				2	23

表 登山道の荒廃箇所件数

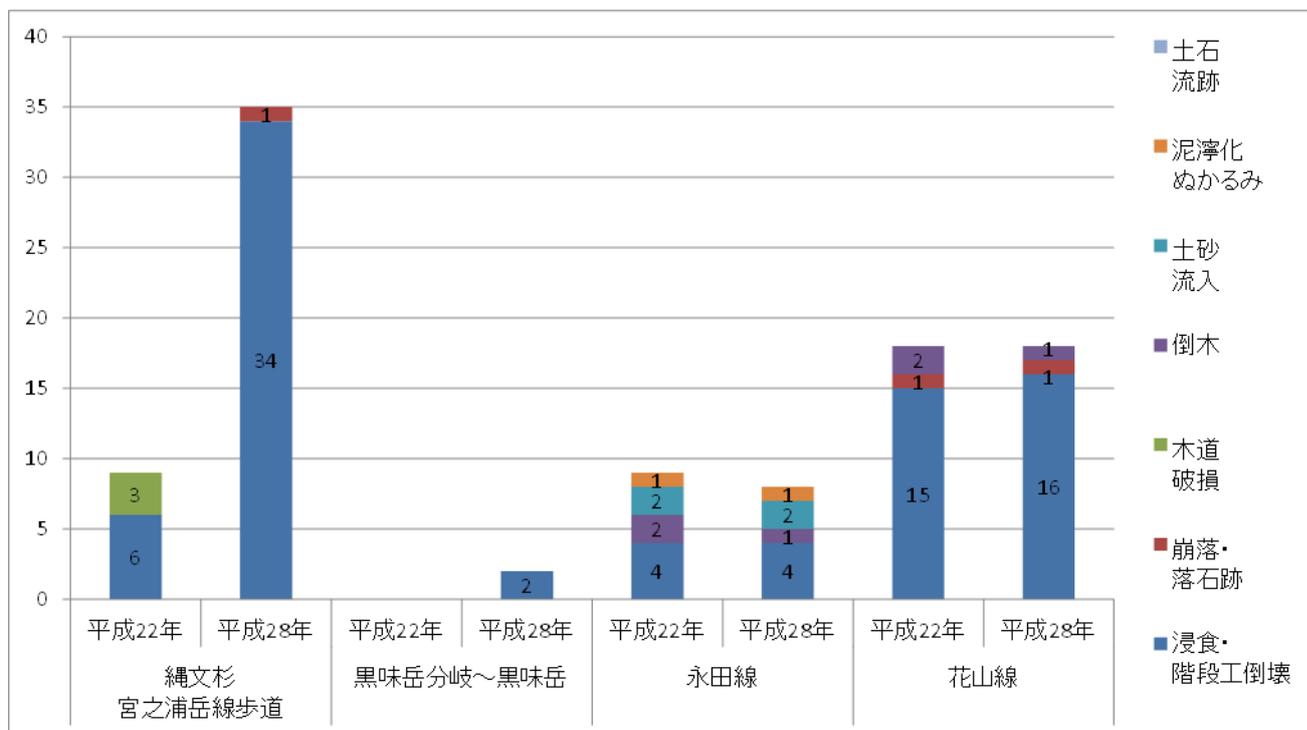


図 登山道の主な荒廃箇所推移 (平成22年度、平成28年度)

縄文杉宮之浦岳線歩道および花山線で浸食等荒廃箇所数が多く確認されたが、特に縄文杉宮之浦岳線において、平成22年度の第1回調査時には記録されていない荒廃箇所が目立ち、翁岳鞍部から栗生岳にかけての浸食拡大が顕著であった。



図 縄文杉宮之浦岳線歩道の荒廃状況

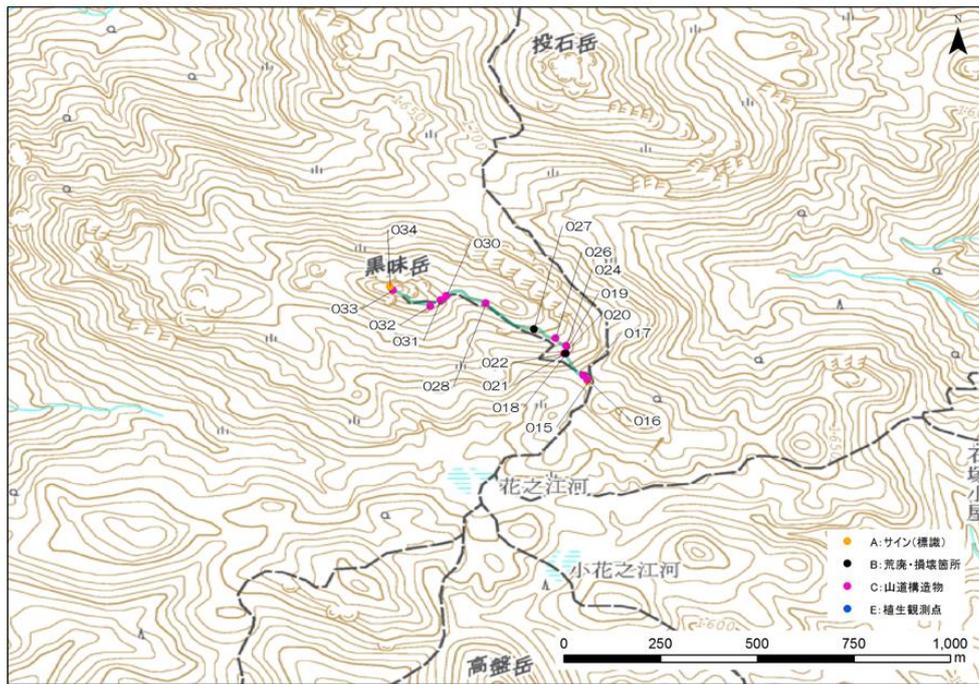


図 黒味岳分岐～黒味岳までの区間



022 (H28)



027 (H28)



図 永田線 (永田登山口から鹿之沢小屋までの区間)



390 (H28)



390 (H22)



395 (H28)



395 (H22)

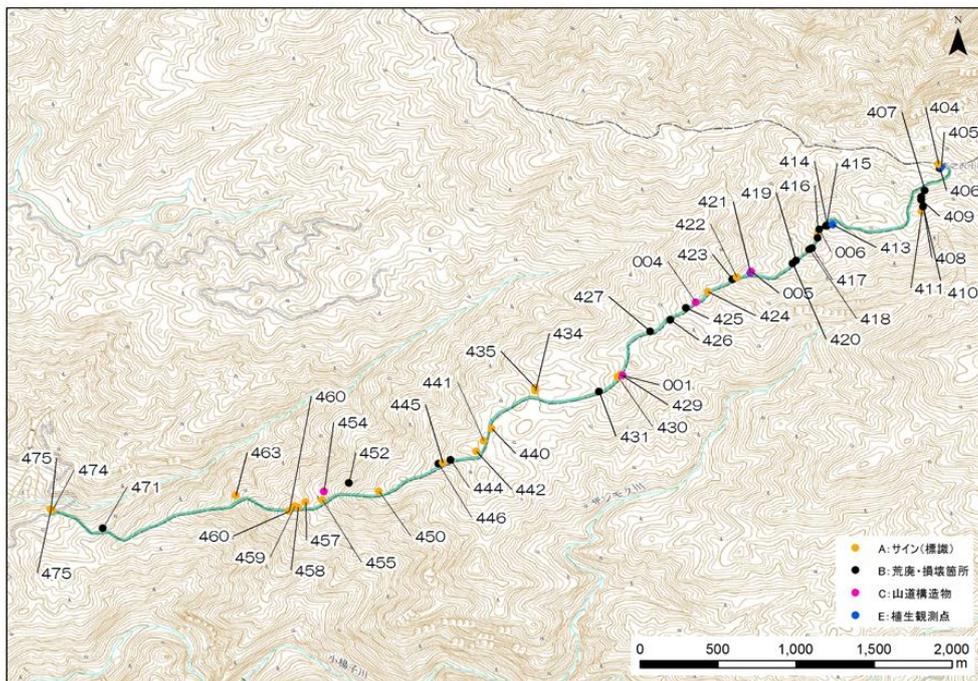


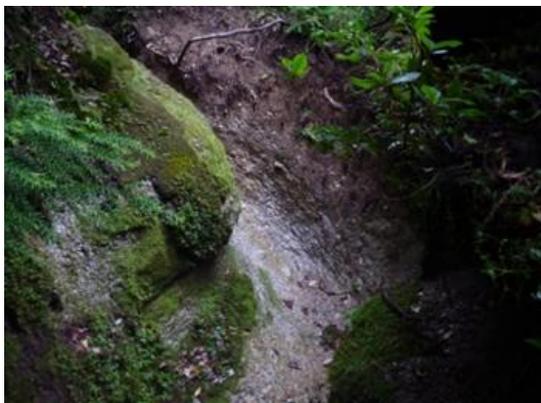
図 花山線 (花山登山口から鹿之沢小屋までの区間)



418 (H28)



418 (H22)



006 (H28 新)